

慢性心不全患者のフレイルの実態に関する研究

■ 研究の対象となる方

2020年10月～2022年3月に、心不全治療のために当院で入院加療を必要とした患者さんのうち、65歳以上でリハビリテーションを行った方

■ 目的・方法

心不全で入院された患者さんの中には、フレイルと呼ばれる運動機能が低下した患者さんがおられます。このフレイルの状態ですべて退院となる場合、心不全の再入院率が上昇することが報告されています。そのため、入院中にフレイルの有無について評価を行い、フレイルを認めた場合には出来るだけ早期から運動などの介入を行うことが望ましいとされています。この研究では、心不全で入院となった65歳以上の患者さんを対象に、フレイルの状態の方がどのくらいの割合でいらっしゃるのかを調査します。また、入院前の運動機能まで回復しないまま退院する患者さんがどのくらいいらっしゃるのか、についても調査し、その後の予後（再入院率など）との関連などを調べることを目的としております。調査方法は、入院中の診療記録と、退院の12ヶ月後にお送りするアンケートを用いて行います。

■ 実施期間

2020年11月10日～2023年3月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、身体計測、既往歴、各種検査（心臓超音波検査や血液データなど）、理学療法評価（入院前の生活機能、入院中の身体機能評価、予後・退院先など）
診療の中で得られた情報と、退院後に郵送させていただくアンケートを使用します。この研究のために新たな検査をお願いすることはありません。

■ 研究の実施体制 ※他施設共同研究の場合のみ記載

研究代表 順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 高橋 哲也
共同研究施設 神戸市立医療センター中央市民病院、藤田医科大学病院など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 リハビリテーション部 係長 岡田 大輔(研究責任者) 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---